

陳情番号	123
付託先委員会	総務文教委員会
審査結果等	

浜田市議会議長様

サン・ビレッジ浜田アイススケート場の施設の方向性の検討に関し、市が求める費用対効果についてわかりやすい説明を求める陳情

サン・ビレッジ浜田アイススケート場は、今年の春の営業終了後に冷凍機と配管の故障が明らかになり、今シーズンは営業できない状態です。冷凍機は25年稼働しており、近年は不調を認識しながらも費用を理由に必要なオーバーホールを行わないと決めて運用してきたため、経年劣化によってこのようなことが起こることは予想できたはずですが、運転できない状態になるまでに冷凍機を更新して施設を存続、活用するという判断は行われませんでした。

サン・ビレッジ浜田アイススケート場の今後については、浜田市は施設の方向性についての調査や検討を三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社へ委託しており、同社によって市民や市内の学生、利用団体等を対象に調査が行われているようです。

令和3年春、ソチオリンピック日本代表の町田樹さんやサン・ビレッジ浜田で練習するスケート競技団体の陳情書提出を受けた久保田市長は「あった方が良いが、費用のこともある。外部から人を呼び込む施設として再度検討する。」と回答下さいました。

通常、市のスポーツ施設の用途、目的は「市民の健康増進や、生涯スポーツの推進、競技力向上」等であるため、市民の利用を主に想定して設置されると思います。しかし、このスケート場は浜田市が主に市民の利用を想定して設置したものではなく、国が設置したものを、後に市が買い取ったという施設です。設置当初から、当時の浜田市民だけではなく、周辺市町や県外等、広域からの利用がありました。ピーク時は2万人以上、その後も安定して1万人以上の利用があり、開場期間が約半年間であるため、浜田市のスポーツ施設の中では日あたりの利用者数はトップクラスに高い施設です。そして利用者1人が負担する利用料金も、浜田市の公共施設の中で群を抜いて高い料金が設定されています。これは、冷凍機のランニングコストが年800万円程度必要という他の施設と異なる事情があったため、そこを利用者(受益者)が負担することで施設を維持するという観点から当然のことと考えます。

一方で浜田市の他のスポーツ施設(陸上競技場、野球場、サッカー場、テニスコート、ゲートボール場、体育館等)も、イニシャルコスト、ランニングコストを利用者が負担して施設を維持するという考えに基づいて運営されていません。具体的な例を挙げると、陸上競技場は数年ごとに地盤沈下対策に3000万円~5000万円、野球場もフェンスや電光掲示板の修繕・更新に約1億円、市民プールも屋根の大規模修繕等、さらに大きな費用をかけていますが、これらの費用をまかなうために利用料金を大幅に上げるといったことは行われていません。これは「市民の健康増進や生涯スポーツの推進、競技力向上」等の目的を果たすため、市がその維持運営にかかる費用を予算化し、市民全体として負担しているということです。

令和3年春に浜田市教育委員会が行った「サン・ビレッジ浜田アイススケート場シミュレーション」を以下に示します。

サン・ビレッジ浜田アイススケート場 シミュレーション **未定稿** 平成29年度実績から

スケート場	更新費	年間 利用料収入	ランニングコスト								年間合計	年間収支
			電気代	水道・ガス代	灯油代	メンテナンス 年	メンテナンス 定額	修繕費	人件費	その他		
A 現状		9,300,000	3,180,000	250,000	4,410,000	2,010,000	1,200,000	150,000	4,600,000	1,580,000	17,380,000	-8,080,000
B 更新 キュービクル	80,000,000	9,300,000	4,000,000	150,000	0	1,700,000	440,000	150,000	4,600,000	1,580,000	12,620,000	-3,320,000
製氷庫	22,000,000											
LED化	35,000,000											
現状との差			-820,000	100,000	4,410,000	310,000	760,000	0	0	0	4,760,000	-4,760,000
C 多目的 人工芝	38,600,000	2,770,000	840,000	50,000	0	0	0	100,000	3,500,000	800,000	5,290,000	-2,520,000
LED化	35,000,000											
D 多目的 LED化												
E 多目的 LED化												

B 新たに更新した場合、Aの現状と比較して、年間で4,760,000円のプラス計上となる。冷凍機と製氷庫、LED工事を実施した場合、およそ140,000,000円と想定する。単独に指定管理料は、現行よりも約4,760,000円減額できるが、工事費の返済を考慮して、補助金なしの場合、137,000,000円/4,760,000円=28.8年
 冷凍機の耐用年数は、約20年と言われており、工事費返済が済まないうちに新たな冷凍機の更新が必要となる。
 年間利用料収入が12,700,000円以上になれば、年間収支のバランスが取れると推定される。 目標利用料収入が年間12,700,000円
 平成29年度～令和元年度の利用料収入の平均が1人あたり約940円として、試算した場合、シーズン約13,500人以上の利用者数があれば収支のバランスが取れる。
 1/3補助26,400,000円となり、冷凍機53,600,000円+57,000,000円=110,600,000円
 110,600,000円/4,760,000円=23.3年
 2/3補助153,360,000円となり、冷凍機26,640,000円+57,000,000円=83,640,000円
 83,640,000円/4,760,000円=17.6年
 以上のことから2/3の補助金を得ることができれば、耐用年数で更新できる。
 見積の試算
 A社2基の見積金額:43,556,700円(税込) 機器設備費:24,887,000円+現地工事費:13,110,000円=37,997,000円
 37,997,000円×1.45×1.1=80,605,215円(国の基準で建築費による試算)
 80,605,215円+別途工事+キュービクル=約80,000,000円~90,000,000円
 【利用料収入、利用者数は別紙1を参照】
 C 多目的施設にした場合、人工芝化とLED化で73,600,000円、ランニングコストは想定で年間マイナス2,520,000円となる見込み。
 年間で約2,520,000円マイナスとなるので、指定管理料は、約5,560,000円減額できる。 室内テニス、ゲートボール等の軽スポーツ、フットサル(考え方としてスケボー)
 利用者数:15,800人、73,600,000円/5,560,000円=約13.2年、2,770,000円/15,800人=約175円/人
 人工芝の耐用年数が、約20年と言われており、更新費が約14年で換算できることになる。機器の更新やメンテナンスがないのは魅力的。
 電気代は機器がなく照明だけとなるので、840,000円/年、水道・ガス代も氷を張ることがないため、50,000円/年
 人件費は、受付等がメイン業務となるので、パート雇用で3名体制とした。 利用料収入が5,300,000円あれば収支バランスが取れる。 利用者数:30,300人(厳しい)

冷凍機の更新と照明のLED化で、ランニングコストは年間476万円減少する試算になっています。しかし、この資料の説明文においては、スケート場として存続する場合も、用途変更する場合も、イニシャルコスト(改修の工事費)についても、耐用年数の期間をかけて利用料金収入で「収支バランスが取れる(指定管理料無しで運営できる)利用者数」を求めようとしています。

浜田市の公共施設で、建設時や大規模修繕時に、以降の利用料金収入でその工事費と維持管理費をすべてまかなう(市の実質持ち出しは0)というものは無いと思います。多くの公共施設は、毎年度市民全体で施設の人件費を含む管理運営費用を負担しており、取得や大規模修繕等の大きな費用がかかるイニシャルコストについては起債することで将来の市民も含めてその費用負担を平準化しています。

サン・ビレッジ浜田アイススケート場の活用について、浜田市教育委員会がこうした現状に当てはまらない考え方でシミュレーションを作成している理由も不明です。

以前市議会に提出し採択して下さった陳情で、判断材料（調査や検討の項目）、判断基準（それらがどうであれば存続したほうが良い、または用途変更したほうが良いのか）の説明をお願いしましたが、執行部からは外部に調査検討を委託することを決めているという説明だけで、疑問に対する具体的な考え方が何も示されていないため、市の考え方が分かりません。

サン・ビレッジ浜田のアイススケート場の方向性について、費用対効果（例えば、これまでの施設の実績に鑑み年間〇〇人程度の一般市民と〇〇人程度の教育利用+年間 5000 人の交流人口の維持は必要である。そのために市として負担できる費用の限界は〇〇であり、根拠は〇〇である等）に関する市の考え方についての説明が必要かと思えます。

施設の方向性の決定を行うまでのいずれかの段階で、議会や市民にわかりやすく説明していただけるように、執行部に働きかけて下さいますようお願い申し上げます。

2023年11月17日

浜田市国分町

三島 淳寛

